

令和 7 年 3 月 定例会

総務委員会会議録

2 月 2 6 日（水）

防 府 市 議 会

令和7年第1回定例会 総務委員会会議録

○日 時 令和7年2月26日(水) 午前11時35分

○場 所 議会棟1階・第1委員会室

○付議事件

(1) 議案第2号 令和6年度防府市競輪事業特別会計補正予算(第3号)

○出席委員(8名)

総務委員長	三原昭治
総務副委員長	梅本洋平
総務委員	上野忠彦
〃	宇多村史朗
〃	重田直輝
〃	田中敏靖
〃	松村学
〃	村木正弘

○欠席委員(なし)

○委員外議員(なし)

○説明のため出席した者(2名)

文化スポーツ観光交流部長	瀬川博巳
文化スポーツ観光交流部次長	工藤康彦

○出席書記

川越進矢

午後11時35分 開会

○三原委員長 お疲れさまです。ただいまより総務委員会を開催いたします。

それでは、さきの本会議において付託となりました案件について審査をいたしますので、
よろしくお願いいたします。

なお、発言の際には、挙手の上、マイクを持ってお願いいたします。

議案第 2 号 令和 6 年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第 3 号）

○三原委員長 議案第 2 号令和 6 年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第 3 号）を議題といたします。

執行部の補足説明を求めます。

○工藤文化スポーツ観光交流部次長 文化スポーツ観光交流部でございます。議案第 2 号競輪局所管の令和 6 年度防府市競輪事業特別会計補正予算（第 3 号）について御説明申し上げます。

それでは、補正予算書の 4 ページをお願いいたします。

最初に、地方債の補正でございます。競輪場施設整備事業債につきましては、今年度の競輪場施設整備事業の財源の一部を起債にて充当する予定にしておりましたが、メインスタンドの工事費等が抑えられ、起債の必要がなくなったため、減額補正するものでございます。

次に、歳入でございます。6 ページ、7 ページをお願いいたします。

1 段目の 1 目車券発売金収入につきましては、引き続きインターネット投票による売上げの伸びが見込まれることから、車券発売金収入の増額補正予算を計上するものでございます。

2 段目の 1 目財産運用収入につきましては、競輪場施設整備基金の預金利息収入の増額分を補正するものでございます。

3 段目の 1 目雑入につきましては、払戻金の 10 円未満の端数切捨て金が多く見込まれることから、雑入の増額補正予算を計上するものでございます。

4 段目の 1 目繰越金につきましては、令和 5 年度決算に基づき、前年度繰越金の増額を計上いたしております。

5 段目の 1 目競輪事業債につきましては、4 ページでも御説明しましたとおり、今年度の競輪場施設整備事業の財源の一部を起債にて充当する予定にしておりましたが、メインスタンドの工事等が抑えられ、起債の必要がなくなったため、減額補正するものでございます。

続きまして、歳出につきましては、10 ページ、11 ページをお願いいたします。

上段の 1 目管理費の一般会計繰出金につきましては、前年度繰越金及び今年度の車券売上金収入が当初予算より増額となっていることから、3 億円の増額を計上いたしております。

同じく管理費の施設整備工事費につきましては、今年度の決算見込みに伴い、１億５，０００万円の減額を計上いたしております。

上段の２目競輪場施設整備基金費につきましては、今年度の競輪場の施設整備のために、防府競輪場施設整備基金へ積立金３億５，１６３万円の増額補正を計上するものでございます。

次に、下段の１目交付金のＪＫＡ交付金、２目開催費の競輪実施事務委託料等及び３目の払戻金の増額につきましては、車券発売金収入の増額に伴うものでございます。なお、２目の開催費の光熱水費の減額につきましては、光熱水費高騰見込みや新メインスタンドでの光熱水費の実績がないため、余裕を持って予算計上をしていたところでございますが、決算見込みに伴い減額補正するものでございます。

最後に、１２、１３ページの１目予備費につきましては、今回の補正に伴う収支差を予備費で調整しているものでございます。

競輪局所管の補正につきましては、以上でございます。御審議の程よろしくお願いいたします。

○三原委員長 ただいま、執行部からの補足説明に対する質疑を求めます。

○松村委員 まず６ページから行きますが、本当に今、競輪が熱いといいますか、本当に防府市のためになっているということで、大変うれしく思っております。このたび、またさらにプラスの補正で収入が２２億５，０００万円ということで、これの２５％が一般的な利益になってくるのかなと思いますけども、その辺の御説明と、実際、今回の補正を合わせて、実際今年度の一般的な利益がどれくらい上がったのかということと、施設整備基金については、今４億１，０００万円の積立てということですが、全体で何ぼになるのか、そして３億円は繰り出すようにしていますね、確か一般会計に。だからその辺のところ、お話をお願いいたします。

○工藤文化スポーツ観光交流部次長 まず、車券発売金収入の２５％相当が利益相当かというところでございますが、７５％が払戻金、残りの２５％をいろんな経費でということになりますので、まずはそういった選手の賞金ですとか、いろんな開催経費、その他もろもろが引けてくると、最終的には５％前後のところは利益になってくると思われれます。

全体の利益としては、今年度約７億７，０００万円の利益を見込んでおりまして、それで、その利益を一般会計繰り出しと、基金積立てに振り分けをしております。（発言する者あり）基金全体が、すみません、お待たせいたしました。令和５年度末の時点で３０億５，０００万円でございます、それから基金の取崩し等がございまして、今年度末の残高見込みが９億２，３００万円になります。

○松村委員 これちょっと今補正と関係ないんですけど、意見として、今度選手宿舎をやると、これを１０億円か２０億円かわからんけど、それだけかかると言われていますが、その後はあまり大きいものが確かなように聞いているんですけど。

そう考えますと、防府市の競輪場の今、遊具やら、自転車場みたいな子どもたちが遊ぶのもできて、大変、今賑わっています。今後、またそういったことにもしっかり市民の競輪に来やすい、また競輪場で家族で遊べるとか、その他の魅力をしっかりつけていただけるように、またお金がこのようにずっと推移していくと、そういうことができるのかなと思っていますので、意見として言わせていただきます。ありがとうございました。

○三原委員長 はい、そのほかありませんか。

○梅本副委員長 まず収入が増えて、そして支出が抑えられて、すばらしい成果だと思います。競輪場がリニューアルされてからの入場者数の変化を教えてください。そして、もう一点、インターネット売上げが最近増えているということでございますが、この数年間の売上げの推移というものが分かれば教えてください。

○三原委員長 暫時休憩します。

午前１１時４６分 休憩

午前１１時４７分 開議

○三原委員長 それでは、休憩を閉じて再開いたします。

○工藤文化スポーツ観光交流部次長 それでは、この一覧表にて御説明させていただきます。

令和元年から令和６年度は、１月末の時点での数字でお示ししております。この合計という欄を見ていただいたら、防府の売上げの状況が分かるかと思います。

まず、令和元年が１５１億円、次の令和２年が１７４億円、令和３年が約２１７億ですか、令和４年が２３７億円、令和５年が、これがリニューアルの工事中でございまして、レース数をＦ１というグレードだけと、それと記念レースのみに数を減らしておりましたので、１７０億８，０００万円、今年度が１月末の段階で２２４億円という状況になっております。

先ほど、今、合計のところを見ていただいたその隣に開催日数を記載しております。そこを見られても、令和５年度は日数がそもそも３４日ということで、前年の半分ということもありまして、かなり売上げが落ちてはおりますが、これは日数の関係でございます。

○梅本副委員長 よく分かりました。リニューアル後は約３割増しということで、非常にたくさんの人が訪れて、すばらしいなと思います。

もうちょっとお聞きいたします。４ページの競輪場施設整備事業債ですね。こちらは減額されていますが、メインスタンドの整備費が抑えられたということでございますけれども、この抑えられたという原因というか理由があれば教えてください。

○工藤文化スポーツ観光交流部次長 抑えられた原因といいますのが、先ほどもちょっと説明で触れさせていただいたんですけど、メインスタンドの工事費がインフレスライドでかなり増額するであろうという見込みを立てておりましたが、それがそこまでいかなかったというところと。

あと基金の充当等についても、ほかの予定していたものがそこまでいなくて、この起債を借りる必要がなくなったというところでございます。

○梅本副委員長 非常によく分かりました。

最後です。６ページの雑収入が増額されておりますが、まずこれがどういったものなのかというのをちょっと御説明いただきたいのと、その後、これをどのようにこのお金はなっていくのかということを教えてください。

○工藤文化スポーツ観光交流部次長 この雑収入で払戻金端数切捨て金でございますが、これは、競輪の場合は払戻しが１０円単位になっております。計算した結果、１０円未満の金額については、これを端数で切り捨てます。切り捨てた分は施行者に戻ってくるわけなんですけど、この戻った分は利益に回すというのではなくて、ファンサービスにいろいろ充当しておりますので、これがそっくりそのままうけではなくて、あくまでもお客さんのためということになっております。

○梅本副委員長 ファンサービスということでございますが、ファンサービスというのは具体的にどういったものがあるか、例を挙げていただければ。

○工藤文化スポーツ観光交流部次長 ファンサービスというのが、いろいろなレースを開催したときに、この間のオープニングイベントなど、いろいろなキャラクターショーでそういったものを呼んだり、いろいろな芸能人的なものを呼んだり、あと、未確定車券といまして、車券購入された方も、レースが始まるまでの車券であれば、そこでまた抽せんくじを引いて、いろんな景品といいますかプレゼントを差し上げたりして、お客さんに来ていただきたいというようなことをしております。

○梅本副委員長 よく分かりました。結構大きい、この端数と言いながらも４億２，０００万円ということで、４億２，０００万円はまるまる防府競輪で使ってもいいお金なんですか、それともＪＫＡに幾らかとかってあるんですか。

○工藤文化スポーツ観光交流部次長 これについては防府競輪に戻ってくるわけなんですけど、これはいろんな形で使われておりますので、今、売上金収入が増額ということで計

上しておりますので、それに伴ってこの端数も増えるであろうということで、今増額しておりますので、最終的にはここまでの金額にならないかも知れませんが、取りあえず売上げに連動させて、この端数切捨て金をこのたび予算増額させていただいております。

○松村委員 せっかく資料を頂いたので、ちょっとこれに関連して、インターネット投票が大分伸びたから、急に売上げが変わりだしたというのは承知していたんですけど、この表を見ると、令和3年からガコーンと増えていますよね。この時にインターネット投票でこうなったのかよく分かりませんが、確かJ K Aのほうも頑張ってアイドルとか芸能人とか、とにかくP R活動とか、いろんな活動、あとスター選手が出てきたりとか、そういうのもあるかもしれませんが、一体この間にどういう大変化があったのか分からないですけど、どういうのがあってこういう形にバズっていったのか、ちょっとその辺を知りたいので教えてください。

○工藤文化スポーツ観光交流部次長 このインターネットの売上げが一気に伸びてきたのが、もともと徐々に伸びつつはあったんですけど、ちょうどコロナ禍にありまして、お客さんとか一般の方が、外に出られないような状況のとき、ちょうど御自宅で、それこそ巣ごもり需要じゃないですけど、家の中でいろいろインターネットを検索していらっしゃったら、こういう競輪のインターネットでやっているのをみんな見られて、それでどんどん売上げが上がっていったというのが、ちょうどタイミングがその時期にありまして、コロナが落ち着いてもその波がある程度続いているという状況でございます。

○三原委員長 いいですか。

○松村委員 ありがとうございます。はい。

○三原委員長 そのほか何かございますか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○三原委員長 ないようですので、議員間討議を行います。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○三原委員長 ないようですので、討論を求めます。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○三原委員長 討論を終結でお諮りします。本案については、原案どおりこれを承認することに御異議がございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○三原委員長 御異議ないものと認めます。よって、議案第2号については、全員一致で原案のとおり承認されました。

以上をもちまして、当委員会に付託されました案件についての審査を終了とし、総務委員会を散会いたします。

お疲れ様でした。

午前 11 時 55 分 散会

防府市議会委員会条例第 30 条第 1 項の規定により署名する。

令和 7 年 2 月 26 日

防府市議会総務委員長 三 原 昭 治